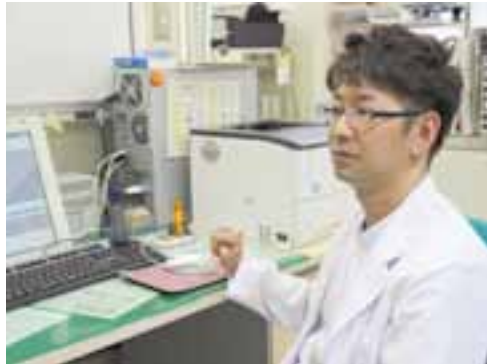


健康通信

市民病院より

問合先 市民病院 (☎76-4131)

片側の顔面がピクピクする症状はありませんか？



▲脳神経外科・ガンマナイフ科部長
長谷川 俊典

今回は片側顔面けいれんという病気についてお話しします。片側顔面けいれんは自分の意図とは無関係に通常片側の顔面筋がピクピクけいれんを起こす病気です。40代以降に多く、脳幹にある顔面神経の出口を蛇行した血管が圧迫することにより起こります。症状は左右どちらかの上あるいは下まぶたのけいれんに始まるものが多く、悪化すると頬や口周囲の筋肉もけいれんするようになります。さらに重症になるとけいれんが持続して、眼を開けることが困難になり、日常生活に支障を来すよう

になります。基本的に左右同時に起こることはなく、左右同時に起こる場合には他の原因を考える必要があります。治療法として、以下の3つの方法があります。

①薬の内服

最初に考慮すべき治療法です。抗てんかん薬や向精神薬などを内服することによりけいれんを抑制します。根治療法ではありませんので、薬の内服継続が必要になります。発症当初は持続的に起こることは少なく、ストレスや緊張が強くなると起こることが多いので、けいれんがひどいときに薬を内服すれば、症状を緩和できます。

②ボツリヌス療法

ボツリヌス菌が作り出すボツリヌス毒素を注射して、緊張している筋肉を麻痺させ、顔面けいれんの症状を改善する治療方法です。ボツリヌス毒素は、神経と筋肉の伝達を遮断して、筋肉の緊張を取り除きます。通常、2〜3日後より徐々に効果が現れ、数カ月持続した後、数週間かけて効果が消えていきます。外来で行うことが可能ですが、効果がなくなったら、繰り返し治療を行う必要があります。

③手術

現在行われている唯一の根治療法です。開頭手術により顔面神経を圧迫する血管を移動させる方法です。約10日間の入院治療が必要で、全身麻酔による手術になります。患側の耳の後ろの皮膚を切開し、頭蓋骨に穴を開け、顕微鏡で直接圧迫部を観察します。それ程難しい手術ではありませんが、脳神経と血管を剥離する手術ですので、合併症のリスクがあります。最も多い合併症は手術側の聴力低下ですが、現在は手術中に聴力が落ちるのを防ぐためのモニターを用いており、そのリスクは非常に低くなっています。他の合併症として顔面神経麻痺や脳血管障害がありますが、極めて稀な合併症です。圧迫血管が明らかではない場合や圧迫血管の移動が不可能な場合もあり、けいれんが消失しないことも数%ありますが、ほとんどの場合は手術後しばらくしてけいれんは消失します。



らかではない場合や圧迫血管の移動が不可能な場合もあり、けいれんが消失しないことも数%ありますが、ほとんどの場合は手術後しばらくしてけいれんは消失します。

◆お知らせ

市民病院医師事務作業補助者募集
勤務

- 4月1日(月)〜
- 月々金曜日午前8時30分〜午後5時(休憩60分)
- 内容 医師の指示の下に行う次の業務
 - 電子カルテ・オーダーングシステムへの代行入力
 - 診断書などの文書作成の補助
 - その他医師の事務作業の補助
- 対象 医療事務経験が3年以上ある方、もしくは次のいずれかの資格を有する方
 - 日本医療教育財団「医療事務技能審査試験」
 - 日本医療保険事務協会「診療報酬請求事務能力認定試験」
 - 技能認定振興協会「医療事務管理士」
 - 医療秘書教育全国協議会が実施する「医療秘書技能検定2級以上」
 - 日本医療教育財団「医師事務作業補助技能認定試験」

人員 2人程度

月給 145,200円

申込・問合先 3月22日(金)(必着)
までに、履歴書(写真貼付)、資格免許証の写し(資格を有する場合のみ)を郵送または直接医事課(〒485-08520 住所不要 ☎76-4131)

※ 3月26日(火)午前10時から面接